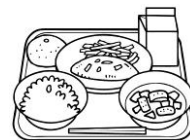


1/24~30

全国学校給食週間

給食がはじまったころのこんだて

給食はいつからはじまったのだろう？



< きょうのこんだて >

セルフおにぎり（やきのり・せんぎり
たくあん）
みそしる
しおざけ
ぎゅうにゅう

めいじ ねん やまがたけんつるおかし しりつ ちゅうあいしょうがっこう べんとう
明治22（1889）年、山形県鶴岡市の私立忠愛小学校で、お弁当を
も 持ってこられなかった子どもたちのために、おにぎりなどの ちゅうしょく むりょう
で提供したのが学校給食のはじまりとされています。

このときのこんだては「おにぎり、しお づけもの
漬け物」だったといひます。

いま きゅうしょく ちが いえ じゅうぶん た
今の給食とは違い、家で十分に食べることができない子どもたちを
たす やくわり とうじ やまもり ごはん みそしる
助けるという役割がありました。当時は、「山盛りのご飯とみそ汁
つけもの しょくじ ふつう や ざかな
漬け物」という食事が普通で、焼き魚がついていればごちそうだったそう
です。今日は、そのころのメニューをもとにしています。あたりまえ た
られることに感謝して、あじ
味わっていただきましょう。



今の給食とくらべてみ
ましょう・・・

